



～データを踏まえて未来を構想し、探究し、行動する科学技術人材の育成～

<探究の成果を発表しよう>

SSH 指定校では、生徒が探究・研究した内容を積極的に発表する機会が多くあります。今年の3年生（特に理数科の生徒）は昨年度のRAP 応用 A・B で探究、研究した内容を夏休み中に発表しました。発表することのメリットや身につく資質を紹介します。

1. 自分の考えを客観的に見直し、伝える能力があがる
2. 他校の生徒と切磋琢磨できる
3. 自分の考え方を深めることができる。

<この夏、本校の生徒が参加した発表会等>

1. 高大連携課題研究発表会 7月17日（土）@オンライン

参加者：島根県内の理数科や科学部の生徒
形式：オンライン（ZOOM）での口頭発表
詳細なアドバイスをいただきました。

2. 山陰探究サミット 7月29日（木）@県民会館

参加者：山陰両県の高校の生徒
形式：3会場に分かれ口頭発表（一部リモート参加）
各会場の優勝者が別会場で再発表

3. 南高アクションデー 7月30日（金）@松江南高

参加者：松江南高校理数科・普通科3年生
コメンテーター：島根県、松江市職員、地域の方など
形式：4会場に分かれて口頭発表
（一部リモートで参加）

以下はポスターのみの参加となりました

4. SSH 生徒研究発表会 8月4・5日 @神戸

参加者：全国のSSH 指定校の生徒
形式：第1部 ポスターセッション
第2部 口頭発表（上位6チームのみ）

5. 中四国・九州地区理数科課題研究発表会

参加者：中国・四国・九州地区の理数科の各県大会
（昨年度3月）で選出された生徒
形式：口頭発表（各県上位1チーム）
ポスター発表（上位3チーム）

SSH 校に指定されたことで、さまざまな場面で発表したり、地域の人との交流する機会が増えてきています。発表するみなさんは、2学期から次の2点を意識してみてください。

1. 「なぜ?」「どうして?」を大切にしよう
2. 思いを発信する力を身につけよう

授業中でも部活動でも家でも、ちょっとしたことに「なぜかな?」「何かな?」と疑問を持ってください。「気になるな・・・」でも十分です♪そして、その思いを「プチ発信」してみましょ！発言までいなくても、紙にメモを残すこともプチ発信です！その発信力があなたの探究の深みにつながります。発表会に参加した先輩たちの探究についてのアドバイスも記載します。是非参考にしてください♪

<発表会に参加した3年生の声>

◎発表会を終えて・・・

- ・他校のテーマの目のつけどころや実験の丁寧さが、自分たちとレベルが違ってすごかった。
- ・さまざまな意見や考え方が聞けて良かった。
- ・資料のまとめ方など、参考になる部分が多かった。

◎アドバイス

- ・調べた結果は曖昧にするのではなく、数値化する。
- ・動機は明確にしておく、話を進めやすい。
- ・引用、参考にした資料は記録して、引用元を記載できるようにしておく。
- ・自分の言葉で発表できるように練習する。誰かに聞いてもらう。